



MOBILE SUIT GUNDAM MSV-R  
RETURN OF JOHNNY RIDDEN  
**ARCHIVE**  
Material-ADD1~SID

Presented by Ark Performance

MS-14J Plus(ProtoType) "GELGOOG VERTEX"

Height:unknown

Head high:21.0m

Body weight:43.7t

Total weight:unknown

Armor material: Super Hard Alloy Steel

Generator output:unknown

Thrust:unknown

Sensor effective radius:7,300m



EN  
GELGOOG  
VERTEX  
RIDDEN'S  
BILE SUIT



**MS-14J**  
**JOHNN**  
**Federation Sur**

**ice J**

MS-14J/BR GELGDDG VERTEX JOHNNY RIDDEN'S MOBILE SUIT

# ジョニー・ライデン専用 ゲルググJ/BR



アナハイム・エレクトロニクス グラナダ工場によってロールアウトされた機体。基礎概念は「リミア・グリーンウッド」が担当。実設計と開発業務は過去に「リック・ディアス」等の設計開発を行った「第2研究事業部」が関与している。シミュレーションモデルに付与されたコードネームは「MS-14J Plus」。設計と開発に割ける時間を大幅に短縮するため、過去の取引によりアナハイム・エレクトロニクスに眠るネオ・ジオン軍開発のMSである「MS-14」リゲルグの基礎設計をベースとした。機体本体はアナハイム・エレクトロニクスが改修・生産し非公式に旧キマイラ隊隊員へ貸与していた「MS-14BR」の先進改修機をさらにフラッシュアップ。構造をフレームから見直し、装甲素材構成を「第2研究事業部」が使い慣れているガンダリウム系へと変更している。シミュレーションモデルからの外見上の違いは背面に展開する主偏向装置アクティブ・バインダーが強化され、推力ノズルが片側2基から3基へと増設されている。これにより機動性の増強と、細やかな推力偏向性能を獲得した。

**SPEC**

High : Constantly changing  
Head high : 19.2m  
Body weight : 45.7t  
Total weight : 70.7t ~ 71.7t  
Armor material : Gundarium Composite  
Generator output : Undisclosed  
Thrust : Undisclosed  
Sensor effective radius : 8800m

# 真紅の稲妻に与えられた ゲルググの新たな頂点



**「アクティブ・バインダー」**

バックパック両側に装備されたアクティブ・バインダーは極めてフレキシブルに動作し、より自由な機動変更と運動性能を与えた。一説には AE 社が過去に関与した未知のガンダム開発プロジェクトの成果データが流用されていると言われているが、定かではない。





ジオン公国軍エースパイロットのひとり、ジョニー・ライデン少佐はゲルググを中心に捉えたこの写真は宇宙世紀0079年12月末、ア・バオア・クー宙域で撮影されたものと思われる。

一年戦争当時、ジオン公国軍突撃機動軍キシリア・ザビは、ヒュー・マルキン・ケルビン大佐に命じ、特別編

成大隊キマイラ隊を編成させた。ザンジバル改称「キマイラ」を旗艦とし、各部隊からエースパイロットを集めた同部隊には当時最新鋭のMSであるゲルググが配備され、MS製造プラント船ミナレットの技術者たちが各パイロットの特性に合わせたバリイライオン機を数多く生み出していた。エースパイロットのひとり、ジョニー・

ライデン少佐は機体を赤く染め、背面にフースターバックを装着した高機動型の改造機に搭乗し、ア・バオア・クー防衛戦に参加したという。

同部隊のユーマ・ライトニングらと共に、多大な戦果を挙げたものの、同防衛戦の終盤に地球連邦軍のウェイライン隊に捕獲され、その後の消息はいまなお不明のままである。

ジョニー・ライデンが搭乗した主な機体



フルバレットザク



MS-14B  
高機動型ゲルググ



MS-06R-2  
高機動型ザクII



MS-06S  
指揮官用ザクII



左の画像は宇宙世紀0090年に、FCSのシミュレーターマシンで実験中のCG映像をキヤッチしたものである。FCS (Federation Security Service) は、年戦争時の兵器、戦術、戦史などの情報収集を目的とした組織で、テストパイロットのレッド・ウエイラインは、機体データ解析のためのシミュレーションフルアーマー・ガンダ

ム(タイプB)に搭乗し、キヤノンタイプを含む3機のゲルググと交戦した。狙撃が不得手なレッドは事前のフリーファイグを無視し、MS小隊後方に位置する敵艦艇へ級アベ型重巡洋艦を急襲し、至近距離からの連装ビームライフルの攻撃でエンジン破壊した。後にエンシニアのリミア・グリーンウッドから、その行動を責められたが、

本来「中距離爆撃」を武装コンセプトにしたフルアーマー・ガンダム(タイプB)は、旗艦への直接攻撃を得意とする対艦仕様といえる機体で、レッドは「こういう使い方が本意」と語っている。ちなみに同機はシミュレーショントのコンセプトマシンという見方が強く、実在性については疑問視されている。

レッド・ウエイラインが搭乗した主な機体



MS-14B  
高機動型ゲルググ



RMV-3M  
遠地制圧型ガンタンク



MS-06G  
陸戦高機動型ザク



FA-78-1B  
フルアーマーガンダム(タイプB)

# MS-06A

## ザクII

(教導機動大隊所属機)

### SPEC

Height / 17.6m  
Weight / 56.2t  
Armament / ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートサーク、他

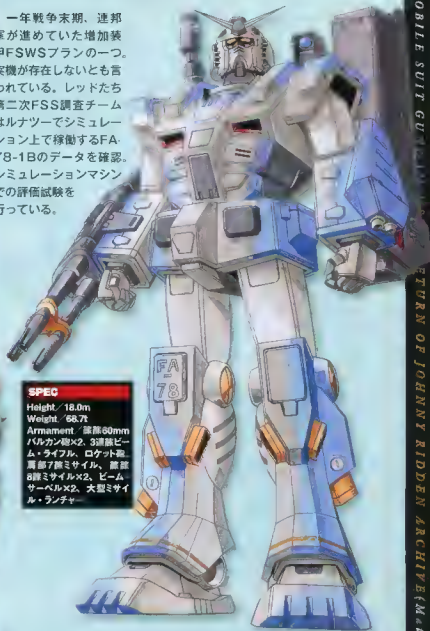
最も初期のザクII。青色のカラーを持つMS-06Aは教導機動大隊の所属機で新人パイロットの育成に使われた。作中では元ジオン兵、ルーベンスの脱走が行われている。



# FA-78-1B

フルアーマーガンダム(タイプB)

一年戦争末期、連邦軍が進めていた増加装甲FWSブランの一つ。実機が存在しないとも言われている。レッドたち第二次FSS調査チームはルナツーでシミュレーション上で稼働するFA-78-1Bのデータを確認。シミュレーションマシンでの評価試験を行っている。



### SPEC

Height / 18.0m  
Weight / 68.7t  
Armament / 主砲60mmバズーカ×2、3連装60mmバズーカ、ロケット砲、翼部78mmミサイル、腰部88mmミサイル×2、ビームサーベル×2、大型ミサイル・ランチャー

# MS-06G

陸戦高機動型ザク

### SPEC

Height / 17.5m  
Weight / 58.1t  
Armament / シールド(■)砲、ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートサーク、ジャイアント・バズ

MS-06Jの性能向上型として開発された陸戦型ザクの最終モデル。メインエンジンとスラスター推力が高められた高機動型。レッドたちは第27番区の射撃試験場でMS-06Gをテストする予定だった。



# RB-79M

ボールM型

(機雷散布ポッド装着タイプ)

### SPEC

Height / 14.1m  
Weight / 32.6t  
Armament / MMB-09E浮雷散布機×48

RB-79ボールの上部のキャノン砲を外し、大量の宇宙機雷を搭載した散布ポッドを装着。連邦軍のプロイ・リゲラ少尉は機雷敷設中に「真紅の暗妻」ジョニー・ライデンと遭遇する。





# MS-14B

高機動型ゲルググ  
(ユーマ・ライトニング機)

## SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 56.2t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッブリバー3連装ミサイル、ツイン・ビーム・スピア他

キマイラ隊の若きエース、「青き雷光」ユーマ・ライトニングの機体。戦後、AE社の部材を使い、連邦製の兵器の運用が可能。第G環境改善プラントでは近接戦闘用に連邦のMS、ジム・ストライカーが使用したツイン・ビーム・スピアを使っている。



# MS-06R-2

高機動型ザク  
(ジョニー・ライデン少佐機)

## SPEC

Height / 17.5m  
Weight / 58.2t  
Armament / シールド(固定)、ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートサーク、ジャイアント・バズ

実績のあるエースパイロットに与えられたMS-06R-1高機動型ザクの性能をさらに高めた機体で総生産数はわずか4機。ジョニー・ライデン少佐はプリムス艦隊に所属時に、R2を支給された。



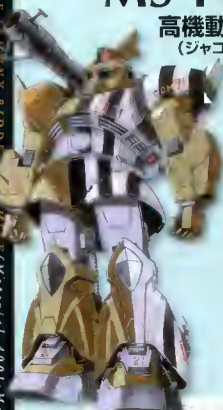
# MS-14C-1A

高機動型ゲルググ  
(ジャコビウス・ノード機)

## SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 56.2t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッブリバー3連装ミサイル、他

キマイラ隊のスナイパー、ジャコビウス・ノードの愛機。機体の左半分に識別用のインベンション・ストライプが描かれていたが、現在は左肩のみに。さらに精密射撃用の三連スコープが追加された。



# MS-07W

グフ複合試験型

## SPEC

Height / 18.5m  
Weight / 67.4t  
Armament / シールド(固定)X2、5連装フィンガン、バールカン砲X2、ヒート射X2、ジャイアント・バズX2

ジオンの主力戦闘機ドップに似た小型の機体(リトル・ドップ)が変形合体。MSのコクピットになるというRX-78のコア・ブロック・システムに似たシステムを採用。ニューヤークで現存する機体の一部が公開された。



## リトルドップ





MS-14B高機動型ゲルググ背面のブースターバック。レッドの機体も外見上はオリジナルと同一。

## MS-14B 高機動型ゲルググ (ジョニー・ライデン少佐機)

### SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 56.2t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッヅリバー3連装ミサイル、ビーム・ナギナタ

MS-14の高機動型で増速用のブースターバックを装着した、真紅の稲妻ジョニー・ライデンの愛機。作中ではジオニックス社が製造した一年戦争当時のオリジナルではなく、ユーマがジョニーのためにA.E.社に作らせた機体。全天周モニターにアームレイカー、リニアシートを装備。最高の部材が用いられている。



## MS-14BR 高機動型ゲルググ改 (エメ・ウィルヘッド機)

### SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 53.3t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッヅリバー3連装ミサイル、他

ツィマント社で改修された2機のMS-14BRの1機。BR型はB型の予備パーツと合わせて納入。キマイラ隊の技術支援隊ヒュドラによってB型がBR型に改修されている。機体番号022。



## MS-14BR 高機動型ゲルググ改 (ジメンス・ウィルヘッド機)

### SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 53.3t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッヅリバー3連装ミサイル、他

ゲルググの開発元であるジオニックス社ではなく、ツィマント社がパイロットの要求水準を満たす形で開発を担当した機動性能向上型。脚部の装甲を外し、推進器をさらに大型化した。機体番号は017。



## キマイラ隊第二小隊

U.C.0090現在、第二小隊の隊長、ジメンス・ウィルヘッドを中心にキマイラ艦が暗黒宙域を遊々。連邦軍・ジオン軍残党勢力を問わず、接近するあらゆる武装勢力を排除している。



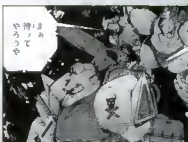
エメ・ディブルム中尉のパーソナルマーク



カラカル隊のクリストバルのパーソナルマーク



現在のクリストバルのパーソナルマーク



暗黒宙域のキマイラ第二小隊。クリストバル機の肩にはパーソナルマークが描かれている。

# MS-14BR

高機動ゲルググ改(ガーニム・ムフタル機)

旧キマイラ隊パイロット「我らが盾」ガーニム・ムフタルの機体。巨大な盾を装備している。

## SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 56.2t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアントバズ、ミサイル・ランチャー、ラップリバー3連装ミサイル、シールド、他

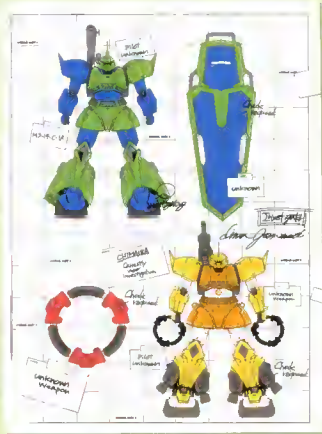
# MS-14C-1A

高機動型ゲルググ(マイヤー・メイ機)

旧キマイラ隊パイロット、マイヤー・メイの機体。近接戦闘用の特殊兵器ビーム・チャクラムを装備している。

## SPEC

Height / 19.2m  
Weight / 53.3t  
Armament / ビーム・ライフル、ジャイアントバズ、ミサイル・ランチャー、ラップリバー3連装ミサイル、ビーム・チャクラム他



# ザンジバル改級キマイラ

## SPEC

Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown



ザンジバル級の船体後方に大型のタンク4基とMS格納庫が一体化した専用カーゴ・ユニットを増設。機動空母として運用された。キマイラ隊の母艦で、一年戦争の後、消息不明となっていたが、今だに隊員達の手によって運用され続けている。

## SPEC

Height / 255m  
Weight / 24,000t  
Armament / unknown

# ザンジバル級機動巡洋艦 サングレ・アスル

プラント船ミナレットの位置を示す航法装置を搭載した艦。現在はFSSとキマイラ隊の管理下にあり暗黒宙域の「荊の園」に係留されている。船体が青く塗られている。キマイラ隊所属のザンジバル級機動巡洋艦。



# RGM-79V

ジム・ナイトシーカー (ヴァースキ機)

空挺部隊用として開発され胸部に背面のランドセルにスラスターとプロペラントを増設。特務部隊ナイトイエガー隊のヴァースキ機はジムⅢベース、僚機はジムⅡをベースとしている。



## SPEC

Height / 18.0m  
Weight / 48.7t  
Armament / バルカン砲x2、ビーム・サーベル、ビーム・スプレーガン、フェーザー・ライフル、海ヘビ他

Federation  
Survey  
Service

# MS Graphic

## FA-78-2 ヘビーガンダム (イングリッド0機)

FA-78-2ヘビーガンダムの全規模試作機のうち現存する二号機をベースに近代化改修が行われた。各部所のアップデートに加え、グリプス戦役で実用化されたバイオセンサーを搭載。



## SPEC

Height / 18.4m  
Weight / unknown  
Armament / ビーム・サーベル、肩部ビームキャノン、フレーム・ランチャー、専用ビーム・ライフル、専用バズーカ、他

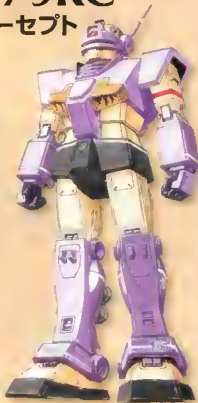
# RGM-79KC

ジム・インターセプト  
カスタム

## SPEC

Height / 18.0m  
Weight / 51.7t  
Armament / R-4ビーム・ライフル、ビーム・スプレーガン、ビーム・サーベル、バルサック式380mmロケットバズーカ、ミサイルランチャー

ジム・スナイパーカスタムの後期生産型を改修し、フェロウ・ブスターを装着して中間迎撃に用いられた。ウェイライン隊に配備され、ジョニー・ライデンのMS-14Bと交戦。



## FA-78-2 ヘビーガンダム (二号機)

## SPEC

Height / 18.4m  
Weight / 52.2t  
Armament / ビーム・サーベル、肩部ビームキャノン、フレーム・ランチャー、専用ビーム・ライフル、専用バズーカ、他

一年戦争末期、増加ウェポンシステムを装着したFA-78-1をベースに再設計した機体。戦後に開発が再開され3機が生産された(4機とする説もある)が、制式採用には至らなかった。





# FFX-7BstPLAN004

## コア・ブースターPLAN004

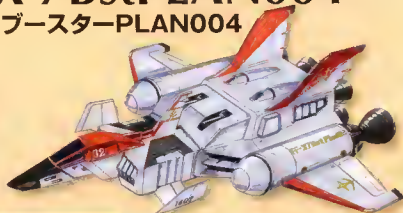
## ORX-005

ギャプラン(イングリッド0機)



**SPEC**  
Height / 25.2m  
Weight / unknown  
Armament / ビーム・ライフル×2、ビーム・サーベル×2、ビーム・メガキャノン砲

通常の比バム・バブル・シールド・バインダーが大型化しており、メガ・ランチャーにもなる。



**SPEC**  
Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / 25mmミサイル×4、60mmバルカン砲×2、メガ粒子砲×2

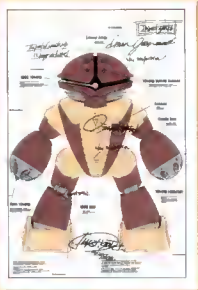
連邦のRXシリーズ開発にあたり、MSの脱出モジュールとして設計されたハービック社FF-X7コア・ファイターの性能を拡張し多目的戦闘機として運用するために開発された。現存する機体をFSSがレストアし、テスト飛行を行なった。

## MSM-04

アッガイ

**SPEC**  
Height / 19.2m  
Weight / unknown  
Armament / 105mmバルカン砲×4、6連発ロケットランチャー、メガ粒子砲、アイアンネイル砲

偵察任務に用いられる水陸両用MS。全天周モニターを備え、操作系がアップグレードされている。パイロットはユー・マ・ライトニング。



## RGM-79HC

ジム・ガードカスタム

**SPEC**  
Height / 18.0m  
Weight / 90.0t (ガーディアン・シールド含む)  
Armament / 60mmバルカン砲×2、電撃バルカン砲×2、ビーム・サーベル×2、ビーム・ダガー、ビーム・スプレッドガン×2、ガーディアン・シールド

ジム・インターセプトカスタムと同じく、ジム・スナイパーカスタムからの改修機で、専用の大型盾ガーディアン・シールドを装備。防御性能の向上が図られた。



## MSM-06

ジュリック

**SPEC**  
Height / 18.7m  
Weight / 84.6t  
Armament / メガ粒子砲×10、フリージャーミサイル、アイアンネイル×2



量産には至らなかった幻の水陸両用MS。戦後、南海の孤島で調査を行った際、ジャングルの中で暴れ回るジュリックの姿が目撃されている。

## RMV-3M

局地戦制圧型  
ガンタンク

**SPEC**  
Height / 13.6m  
Weight / 72.7t  
Armament / 120mmキャノン×2、3連装ミサイルランチャー×2、他



RX-75ガンタンク、RMV-1ガンタンクⅡの流れを汲む連邦陸軍の対MS用重戦車。レッド・ウェイラインはレストアが完了したRMV-3M局地制圧型ガンタンクのテストを行っている。

## ユーコン級潜水艦

ジオン軍残党のラトヴィッシュ艦長の元に他のジオン残党が2隻合流。0083のユーコンと0080のユーコンと1stのユーコンが登場する。細部ではミサイル発射管などが異なる。



## MSM-07N

### ラムズゴック

#### SPEC

Height / 18.9  
Weight / 73.5t  
Armament / クロー・シールド×2、メガ粒子砲×2、ヒートラム、他

スゴックの改良型。両腕のアイアンネイルを着脱可能なクロー・シールドに換装。サングレ・アスルを防衛する軍事会社デミスに送られ、水中部隊として戦線に投入された。

## ドム・マーメイド

#### SPEC

Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown

水面をホバーリングで高速移動する。水上戦闘に特化したドム。地球に降りたが、関係者不在で途方に暮れていたエメとクリストバルのためにスコットが調達した。



## MIP 社水中試験型MS

#### SPEC

Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown

ジオン公国海軍の特務部隊U-47が運用していた特殊戦用MS。基本性能は水中用ザクと大差はないが、静粛性に優れており、海中のソナー情報を攪乱する。



## RGM-79R

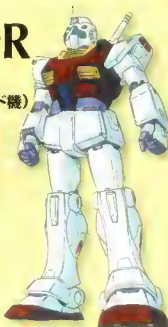
### ジムII

(クリストバル・ラザフォード機)

#### SPEC

Height / 19.1m  
Weight / 49.5t  
Armament / GOmniバズカン砲×2、ビーム・サーベル、ビーム・スプレーガン他

コンバイトウ宙域でサングレ・アスルの捜索にあたるエメの護衛としてラザフォードが搭乗した。



## RMS-119

### アイザック

(エメ・ウィルヘッド機)

#### SPEC

Height / 19.3m  
Weight / 41.5t  
Armament / 射出型データポッド他

偵察用MS。宇宙演習を偽装し、暗礁宙域に打ち上げられたサングレ・アスルを探す「FSS艦隊の目」。



# Gファイター

## 強襲揚陸型

### SPEC

Height / 21.4m  
Weight / 89.8t  
Armament / メガ粒子砲×2、ロケットランチャー×2、バンカーバスター×2

Gファイター宇宙用をベースに改修された連邦軍の特務部隊専用機。連邦軍第104空挺部隊ミシマ師団が運用している。



# CB-X5 (SGT)

## 強襲型ガンペリー

### SPEC

Height / 34.0m  
Weight / 198.5t  
Armament / ミサイル×6 (オプション)

V作戦の支援機として開発されたガンペリー。空挺部隊で特務部隊用の輸送機として運用。ナイトエーガー隊の輸送にあたった。



# ネルソン級 軽空母

### SPEC

Height / 228m  
Weight / unknown  
Armament / メガ粒子砲×6、連射機銃×4、艦首2連装大型ミサイル×6

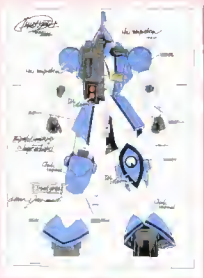


連邦宇宙軍のサラミス級をベースにカーゴユニットを増設したMS軽空母。最大6機のRGM-79ジムを搭載できる。

# YMS-15E

ギャン・エーオース(ユーマ・ライトニング機)

ジオン公国第二期主力MSの競合試作に敗れたYMS-15ギャンの試作機を受領したキシリアの突撃機動軍が、開発元のツィマッド社とジオニック社に命じて改修させた機体。



ユーマがFSSで保管されているMSの中から物色し機体色は青く塗りかえた。

# RMS-099B

シュツルム・ディアス  
(ダントン・ハイレッグ機)

**SPEC**  
Height / 18.0m  
Weight / 61.3t  
Armament / ビームキャノン×2、ビームビストル×2、バルカン・フランクス、ビーム・ライフル、ビーム・サーベイル

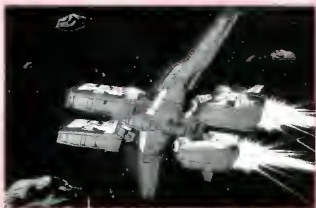
アナハイム・エレクトロニクスが開発したリック・ディアスの強化型で背面のバックパックにグライバインダーを装備。火力と機動性能が向上している。



# ペガサス級強襲揚陸艦 ブランリヴァル

**SPEC**  
Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown

一年戦争最大の激戦ア・バオア・クーに投入されたホワイトベース級空母。連邦宇宙軍の軍閥で連邦議会議員の職にあるゴッパの依頼で、ヴァース兵隊とジョニ子が居候中。



Federation  
Survey  
Service

# MS Graphic



**SPEC**  
Height / 18.2m  
Weight / 56.6t  
Armament / ビーム・ペイオネット、ジャイアント・バス、専用シールド他

# RGM-79V

ジム・ナイトシーカー  
(宇宙仕様：ヴァースキ機)

**SPEC**  
Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown

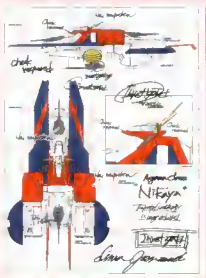
空挺仕様ジムのナイトシーカーの装備を空間戦闘用に調整。連邦軍の次期主力MS、RGM-89ジェガンのパーツを組み合わせた複合機。



# アーガム級強襲巡洋艦 ニカーヤ

**SPEC**  
Height / unknown  
Weight / unknown  
Armament / unknown

地上で建造されたが、グリプス戦役の終戦とともに不要となり、塩漬けになっていたものをジル・ブロッケン・フーバーが引き取りFSSの所属艦となった。





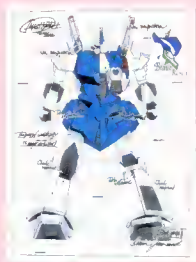
# RX-178 ガンダムMk-II (ヴァース機)



# RMS-117

## ガルバルディβ (フィリス・ストリーム機)

元ジオン少年兵フィリス・ストリームが搭乗。左肩には首都防衛大隊のランス・ガーフィールド中佐から受け継いだ「白薔薇」のマークが描かれている。



### SPEC

Height / 18.5m  
Weight / 33.4t  
Armament / ヒームライフル、シャイアントバズ、ミサイルランチャー、ラップリバー3連装ミサイル、他

RX-178ガンダムMk-IIはRX-78の後継機としてティターンズが開発。ゴッブ連長の依頼を受けたアナハイム主計科局長長フークバルト・サマターはこの時に得たデータを元にRX-178の全パーツを新造したものと思われる。

### SPEC

Height / 19.0m  
Weight / 38.3t  
Armament / unknown

# MSK-008

## ディジェ (シャア・アズナブル機)



### SPEC

Height / 18.4m  
Weight / unknown  
Armament / 60mmバルカン砲、ビーム・ライフル、ビーム・バスタード、グレネードランチャー、ビーム・サーベル他



コンベイトウ宙域に向けて航行中のムササビ級巡洋艦艦内でアルレット・アルマージュが訓練中のディジェ。両腕に装着されたシールドの裏にはシュトルム・ファウストの弾体が4つ。左右あわせて8発を装備している。

サイコフレームのテストベツを兼ねて新生ネオ・ジオン総帥シャア・アズナブルの乗機として組み上げられた。シュトルム・ディアスと同型のグライバインダーと開発中の主力MSグラー・ドーガに採用予定のシールドと腕部パーツが用いられている。コクピットの下には複製に成功したサイコフレームが敷き詰められており、バックアップ用のパイオセンサーに接続。モードを切り替える事でサイココミュニケーションが発動する。

# Gundam Comics Collection

MOBILE SUIT GUNDAM MS-V-R RETURN OF JOHNNY RIDDEN ARCHIVE (Material-4001-Material-S100)



# Ark Performance







機動戦士ガンダム  
**MSV-R**  
 MOBILE SUIT VARIATION  
 ジョニー・ライデンの帰還

月刊ガンダムエース2019年11月号特別付録 [分売不可]  
 『機動戦士ガンダム MSV-R ジョニー・ライデンの帰還』  
 アーカイブブック (Material-A001~S100)